

学校通信

ひがしやま 第35号

発行日 令和7年10月8日(水曜日)
発行者 別府市立東山幼稚園
別府市立東山小学校
別府市立東山中学校
校(園)長 谷川 芳明

○地区合同大運動会に係るアンケート結果について

・9月27日土曜日に開催しました地区合同運動会において、参加された地域の方々や保護者に、次年度に向けて、ご意見を伺いました。ご協力いただきありがとうございました。

①「実施予定日」と「午前中開催」か「1日開催」かについてご意見をいただきました。

地域の方々からの回答で最も多かった実施予定日は、「(令和8年)9月26日土曜日」「午前中開催」。理由としては①10月は稻刈りが本格的に始まる②高齢者が多いので、午前中開催の方が負担が少ない。

保護者からの回答でも、「9月26日土曜日」。「午前中開催」が最も多く、次いで多かったのは、「10月4日土曜日」「午前中開催」でした。

その他のご意見につきましては、例えば①運動会終了後の地域の方々や保護者との懇親会の日時については、昨年度、試みに運動会とは別日に実施をし、その上で、今年度は当日に実施したところです。②朝の弁当を作る手間が省けるというご意見とともに、大変だがお弁当を作りたいというご意見がありました。今年度、昼食会場として、体育館を開放し、ご家族で昼食をとる様子もみられました。次年度もそのようにしたいと考えます。

③苦情として、定められた場所以外での喫煙があったとのことでした。繰り返し、マナー向上と注意喚起を放送等で促します。

ざまざまなご意見をいただきました。暑さ対策や練習期間なども考慮し、各種会議において協議していきたいと思います。

★★

○火山防災教室について(10/8)

・10月8日火曜日 小学校5年生及び6年生を対象に、別府市防災危機管理課及び大分大学減災・復興デザイン教育研究センターが共同して、開催されました。別府市内の学校では初めての取組だそうです。

別府市の地形模型に、火山が噴火した場合や土石流の流れ等を、プロジェクトマッピングで、具体的にイメージさせるとともに、避難時に必要な持ち物や簡易ヘルメット着用体験をしました。自分の家がどのような場合に影響を受けるか、火砕サージの怖さなど、修学旅行での雲仙普賢岳噴火災害の学びが生かされたようです。

